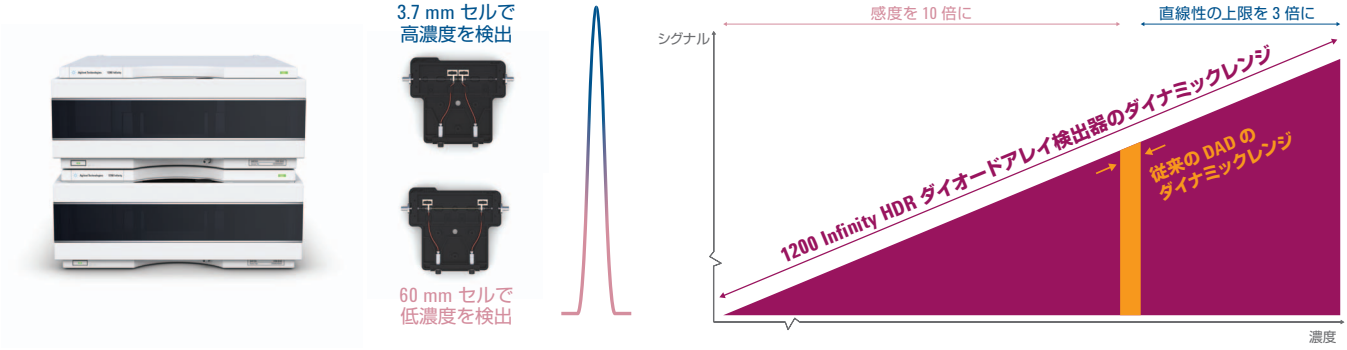
Agilent 1200 Infinity HDR ダイオードアレイ検出器

# 10 倍の感度と 30 倍のダイナミックレンジを実現

Agilent 1200 Infinity シリーズ High Dynamic Range DAD ソリューション (HDR DAD) は、異なる光路長の Max-Light フローセルを用いて 2 つのダイオードアレイ検出器 (DAD) のシグナルを計算することで、検出の直線性を大幅に向上させます。濃度レベルが大きく異なる混合物の分析に威力を発揮します。




1260 または 1290 Infinity の 2 台の DAD を組み合わせてます。3.7 mm セルで高濃度を検出し、60 mm セルで低濃度を検出します。異なる保持時間を特別なアルゴリズムで補正し、シグナルをコンピュータで合成することで、従来の検出器に比べて 30 倍の直線性を実現しました。

## 分析時間の削減による生産性の向上

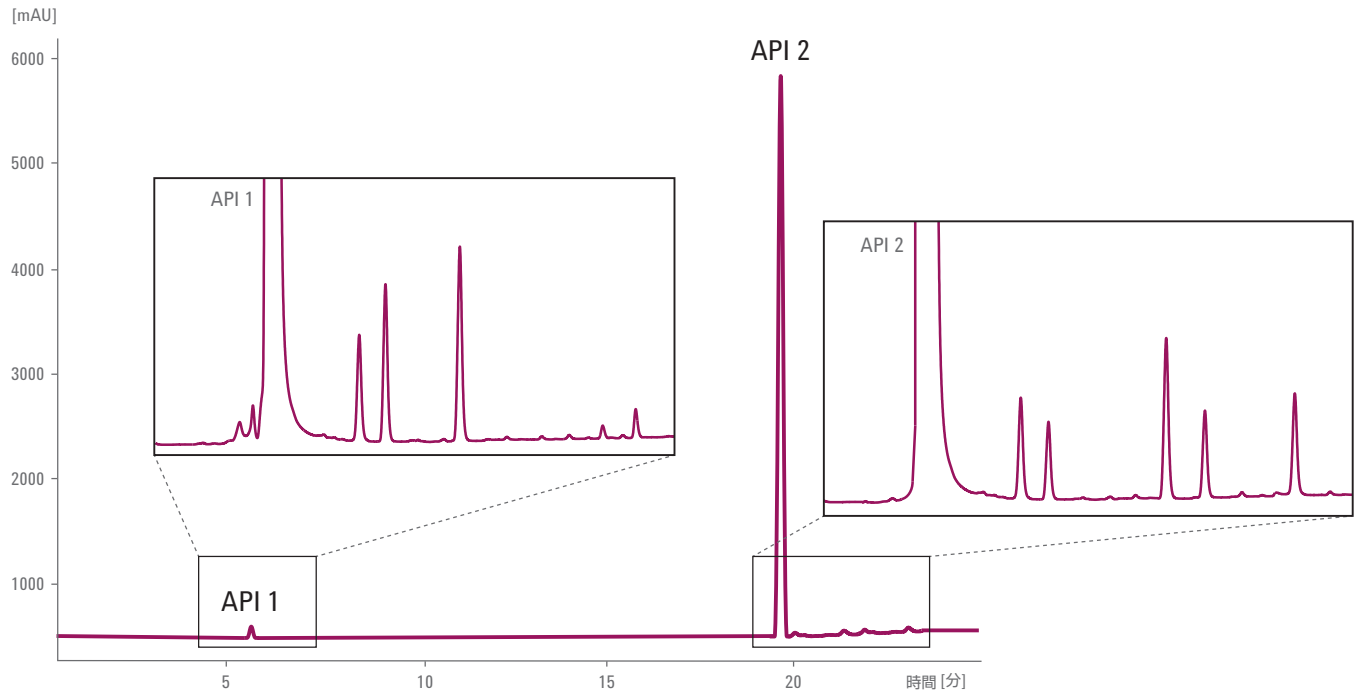
従来のアジレント DAD に比べ、新製品の HDR DAD では直線性の範囲が 30 倍以上向上しており、より広範囲の濃度サンプルに対応することが可能です。それにより再解析や再定量、希釈などのサンプル前処理を省けるため、分析の効率向上を図ることができます。

## 30 倍のダイナミックレンジ

高ダイナミックレンジソリューションでは、検出感度は 10 倍、直線性の上限は 3 倍となり、最大 30 倍のダイナミックレンジが達成されます。その結果、より信頼性の高い分析結果が得られ、低濃度不純物の定量精度も向上します。

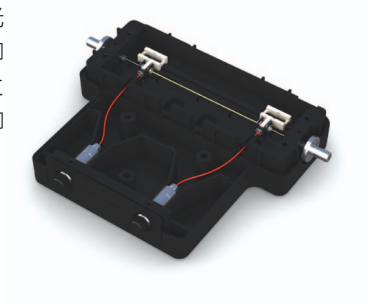
## 1 回の分析で必要なサンプル情報を取得

HDR DAD はダイナミックレンジが広いため、多剤混合薬をはじめとした医薬品の分析など、異なる濃度の化合物が含まれる不純物分析に最適です。一度の分析で目的物質と不純物の両方の情報が得られるため、ラボの生産性向上に大きく貢献します。




API 1 と API 2 は濃度が大きく異なるため、主成分と不純物を定量するには、従来ではサンプル注入量を変えて二回分析する必要がありました。一方、Agilent HDR DAD はダイナミックレンジが広いため、一回の分析でサンプル情報を得ることができます。その結果、時間、手間、使用する溶媒量などが削減され、分析の生産性を改善することができます。

ダイナミックレンジの拡大を可能にしたのが、Agilent Max-Light カートリッジセルです。オプトフルイディクス (光学流体) 導波路を備えたこのセルは、まったく新しい光学系デザインを採用しており、優れた光透過により内部反射を制御します。その結果、光路長にかかわらずノイズを低く抑えます。



## 既存 1200 Infinity LC システムのパフォーマンスを飛躍的に向上

1260 DAD または 1290 DAD を一台追加するだけで、30 倍の直線性が得られます。

**価格**

| | |
|---|---|
| すでにアジレントの高感度 DAD が搭載されている場合 | 200 万円～ |
| まだアジレントの高感度 DAD が搭載されていない場合 | 400 万円～ |

**www.agilent.com/chem/jp**

カストマコンタクトセンタ
**0120-477-11**

本文書に記載の情報、説明、製品仕様等は予告なしに変更されることがあります。また本製品は薬事法に基づく登録を行っておりません。

アジレント・テクノロジー株式会社
© Agilent Technologies, Inc. 2012
Published in Japan, March 1, 2012
5990-9595JAJP

Agilent Technologies